

# まちの話題

ISA City Topics



## いつまでもお元気で



9月、市内の各自治会やコミュニティごとに、長寿をお祝いする敬老会が開催されました。余興では、趣向を凝らした歌や踊り、楽器演奏などが披露され、参加したおじいちゃんおばあちゃんの笑顔や拍手で大いに盛り上がりました。

これからも、無理はしないで趣味を楽しみ、どうぞ元気にお過ごしください。

### 伊佐市の高齢者

伊佐市の総人口	27,669人
75歳以上の人口	6,282人
総人口に占める割合	22.70%
100歳以上の人	32人
(男性：1人 女性：31人)	
市最高齢者(女性)	108歳

(平成27年10月1日現在)

## 市民体育祭



10月11日、伊佐市陸上競技場で市民体育祭が行われました。各校区から選ばれた選手たちは18種目の競技で熱戦を繰り広げました。成績は、次のとおりです。

- 優勝 羽月校区
- 準優勝 曾木校区
- 第3位 大口東校区

## 本物の緊張を体感 大口高模擬選挙



9月25日、大口高校の全校生徒223人を対象にした生徒会長選挙で模擬選挙が行われました。来年夏の参院選から18歳以上に選挙権が与えられることから、この模擬選挙で本物の記載台や投票箱を使って、投票事務など選挙のルールを理解してもらい、選挙を身近なものに感じてもらうことがねらいです。近年、若い世代の投票率の低さは全国的な課題です。市選挙管理委員会の馬場委員長は「投票の重要性や選挙事務の公平さを理解し、選挙に関心をもってもらいたい。」とその意義を語りました。

生徒たちは、立候補者5人の立会演説のあと、緊張した面持ちで大事な一票を投じました。

## バイキング給食



9月28日、大口中央中学校と菱刈中学校で「バイキング給食」が行われました。

事前指導でバイキング給食の方法について説明を受け、その後運ばれた給食にきちんと列をなし、約束事を守って主食やおかず、デザートをよそっていました。

皆それぞれに会話を楽しみ、思い出に残る給食となったようでした。

## 車いすバスケ男子 五輪出場決定



車いすバスケ日本男子は10月17日、リオデジャネイロパラリンピック予選を兼ねた「アジアオセアニアチャンピオンシップ千葉」で、韓国との3位決定戦に勝利し、3位までに与えられる出場権を獲得しました。

市では、2014年8月に日本代表が伊佐市で合宿・紅白戦を行ったご縁もあり、千葉の大会に5日間、大会の運営補助と日本選手の応援、また障がい者の社会参加と「ひとにやさしいまちづくり」の研修のために3名の職員等をボランティアとして派遣しました。

## 70年ぶり涙の再会



昭和20年、空襲などによる被害を少なくするため、児童を安全な農村地域に避難させる学童疎開がはじまり、西之表市から当時の大口・菱刈にも多くの児童が疎開してきました。当時を知る人も少なくなり、戦争の記憶は薄れるばかりです。そこで、伊佐市と西之表市が今年取組んでいる記念誌づくりに併せ、西之表市が疎開経験者の記憶を後世に伝えるDVD製作を種子島高校放送部に依頼、疎開体験者と受入れ家族の再会に密着しました。

大木クリ子さん（西之表市78歳）と梅下フサ子さん（鹿児島市79歳）は、大木さんの疎開先であった故浜島アサノさん宅を訪れ、当時5年生で姉のように慕っていた堀内敏子さん（下手仁王81歳）と再会、涙を流し抱き合いました。このDVDは、記念誌に添えられる予定です。

## 南三陸町と災害応援協定締結



10月9日、南三陸の佐藤仁町長が伊佐市を訪れました。東日本大震災直後の生活物資の提供や職員を派遣している縁で、災害時の相互応援協定を結ぶことになりました。

佐藤町長は、「震災前は近隣の自治体と応援協定を結んでいたが、震災の時は皆が被災したため機能しなかった。今回のような遠隔地との協定は意義深い」と話し、また伊佐市に対しては「今はご支援いただくばかりで申し訳ないが、南三陸町の職員が今日まで経験したことは、万が一のとき伊佐市のお役にたてると思う」と力強く語りました。



## 宇宙を描く



曾木小学校の全校児童がスプレーアートで宇宙を描きました。講師はスプレーアーティストのZAK（ざく）さん。

宇宙、太陽系、惑星などについてスライドショーで勉強した後、スプレーアート体験をしました。

ミニバケツを使い惑星をかたどったり、スプレーを吹き付ける高さや速さを工夫して、影やキラキラ星を描きました。

児童らはスプレーの扱いや臭いに苦戦していましたが、思い切ってスプレーを使い、予想以上の仕上がりになったようでした。

## 伊佐牧場 夢さくら館



大口山野にある特産品販売所「夢さくら館」がリニューアルオープンしました。「伊佐牧場 夢さくら館」と名を改め、株式会社カミチクが指定管理者として運営していきます。

10月4日のオープニングイベントには2,000人が訪れ、焼き肉やピザのふるまい、特製ソフトクリームに列をつくり、また肉やチーズの販売コーナーでは売り切れが続出しました。

平日は加工場として利用され一般には開放されません。肉やチーズ、農産物等をお買い求めになる場合は、土日（8:00～15:00）にお越しください。

## 世界基準で生き生き授業



大口中央中学校の校区内にある小中学校と大口高校は、平成27年度から3年間、英語教育強化地域拠点事業の研究指定を受けています。

そこで10月19日、今後の研究実践に活かすため牛尾小学校で公開授業が行われ、同校の3～5年生26人合同の外国語活動の授業を、市内小中学校の校長や教職員、市教育委員会の関係者らが見学しました。大勢の前で緊張する児童でしたが、子ども同士コミュニケーションをとりながら笑顔で生き生きと活動していました。

## 県内初「レノヴァ鹿児島」と協定締結



10月15日、伊佐市と鹿児島初のプロバスケットチーム「レノヴァ鹿児島」はスポーツを通じた協働によるまちづくりを推進するために協定を締結しました。

両者が持てる人材・資源を活かし活力にあふれ、夢といきがいを持てる豊かなまちづくりの実現をめざします。

今後、レノヴァ鹿児島の選手による学校訪問やバスケ教室を開催、伊佐市は試合の応援や特産品出店などでチームを盛りあげます。